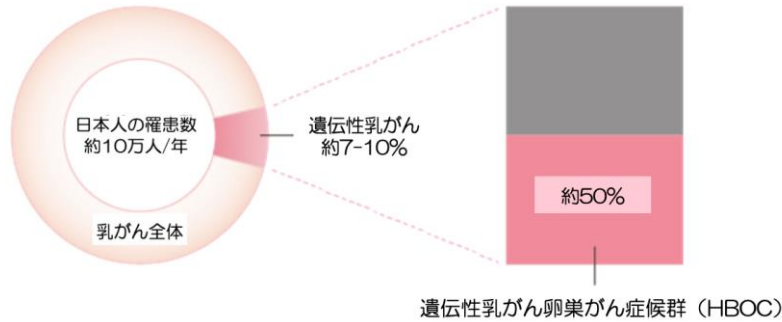


産業医科大学呼吸器・胸部外科だより

乳癌におけるBRCA検査について

広報誌季刊号 2020年夏号

遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC syndrome）はBRCA1またはBRCA2遺伝子の変異に代表される常染色体優性の遺伝性疾患です。日本人女性の乳がん罹患者数は10万人を超えると推計されますが、その5%～10%がHBOCであり、全乳がんの4%がBRCA1/2遺伝子変異に起因する乳がんといわれています。



BRCAの遺伝学的検査は通常末梢血を用いて調べます。以前は、HER2陰性進行再発乳がん患者においてのみ保険診療として行われてきましたが、令和2年4月から再発をしていなくても乳がん既発症例の中で次の項目に当てはまる方にも保険適応となりました。

- (1) 45歳以下の発症
- (2) 60歳以下のトリプルネガティブ乳がん
- (3) 2個以上の原発乳がん発症
- (4) 第3度近親者内に乳がんまたは卵巣がん発症者がいる。
- (5) 男性乳がん

上記のような患者において、術前にBRCA1/2遺伝子変異が判明すれば、乳房温存療法を避け乳房切除（±乳房再建術）を選択することにより治療成績向上につなげることができます。また、現在、健側乳がんの発症のリスクを下げる健側乳房切除術のワーキンググループを立ち上げており、今後はこのようなリスク低減手術にも取り組んでいく予定です。



田嶋 裕子



高 すみれ



福留 唯里加

当科では現在、乳腺を専門とする女性医師3名が中心となり、乳癌を中心とした乳腺疾患に悩まれる患者さんに対して診療を行わせていただきます。遺伝性乳がんのリスクがありそうな若年性乳癌の方や乳がん家族歴のある乳がんの方だけではなく、手術や抗がん剤治療を検討されている患者さんや精査の必要がある患者さんがおられましたら、当科に御紹介いただけたら幸いです。

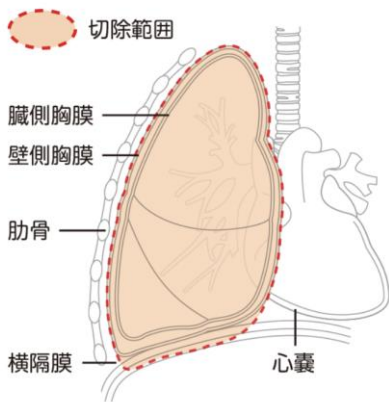
悪性胸膜中皮腫に対する外科的治療

労働安全衛生法施行令の改定により石綿（アスベスト）の取り扱いが全面禁止となりましたが、アスベスト関連疾患である悪性胸膜中皮腫は潜伏期間が30～40年と非常に長く、今後も増加が予想されています。

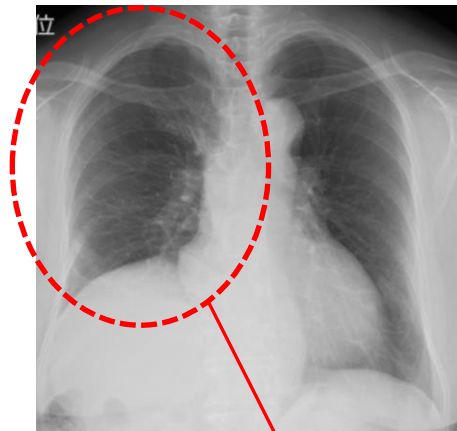
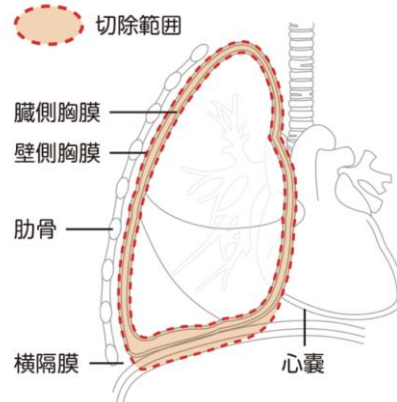
悪性胸膜中皮腫は悪性度が高いため、手術だけではなく、化学療法や放射線療法を組み合わせた集学的治療が望ましいとされていますが、従来行われてきた胸膜肺全摘術（下図左）は侵襲が高く、患者さんへの負担も大きいので、集学的治療が行えないことが多くありました。

しかし、近年、肺を温存する胸膜切除・肺剥皮術（下図右）が注目されており、術後の化学療法と組み合わせることにより良好な治療成績が示されてきております。

＜胸膜肺全摘術（EPP）＞



＜胸膜切除・肺剥皮術（P/D）＞

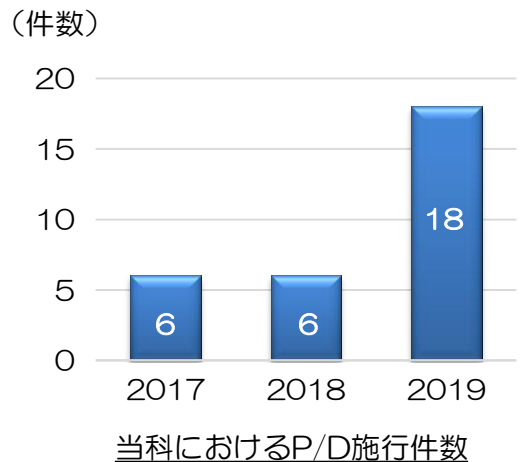


肺を温存することで手術後の心肺機能やQOLの低下を最小限にすることができます。

当科では2017年から胸膜切除・肺剥皮術を開始し、約8割の患者さんに術後化学療法を含む集学的治療を行うことで、従来までの胸膜肺全摘術と比較し良好な成績を上げております。

先生方の御紹介により悪性胸膜中皮腫に対する手術症例も増えており、引き続き、悪性胸膜中皮腫に対する予後改善に努めていきたいと考えております。

悪性胸膜中皮腫に対する手術加療だけでなく、原因不明の胸水貯留や胸膜肥厚などで悪性胸膜中皮腫を少しでも疑われる患者さんがいらっしゃれば当科にご紹介いただくと幸いです。



日本胸部外科学会九州地方会における優秀賞受賞報告



第53回日本胸部外科学会九州地方会総会

The Japanese Association for Thoracic Surgery ~九州の団結と変革~

2020年7月23日、24日に新型コロナウイルスに対する万全の対策を行った上で、第53回日本胸部外科学会九州地方会総会が福岡市ソラリア西鉄ホテルにて開催されました。今回の学会から、専門医取得前の専攻医を対象に各地方会から優秀な症例報告演題を総会へ推薦する『JATS Case Presentation Awards』が始まり、呼吸器分野においては全体で15演題の登録がありました。

その中で、当施設から下記3演題が受賞致しました。

<最優秀賞>

松宮弘喜先生：『右肺上葉+S6区域切除後に中葉うっ血を呈した1症例』

吉松克真先生：『高悪性度胎児型肺腺癌の一切除例』

<優秀賞>

苗代絢子先生：『胸壁浸潤を伴う肺門部肺癌に自家肺移植を行った1例』



この度は、当院における新型コロナウイルス感染の影響で先生方に多大なご心配、ご迷惑をおかけする事となり、申し訳ございませんでした。

関係者及び入院患者における新型コロナウイルス検査の陰性確認に加え、感染防止対策の強化や職員講習を実施し、十分な感染対策を講じた上で、外来及び手術を含めた入院診療を再開しております。今後も安全・安心な医療を継続して提供すべく、感染拡大防止に全力で取り組んでまいります。

『自分や自分の家族が病気になった時に受きたい治療を提供すること』を念頭に、引き続き、先生方の力をお借りして診療を行なっていきたいと考えております。

手術が必要な患者さんだけでなく、日々の臨床の中で悩まれる症例や手術が難しいと思われる症例についても是非御紹介いただきたいと思います。何卒よろしくお願い致します。

当科外来表 2020年

産業医科大学病院

専門分野	火曜日		木曜日	直通 093-691-7320 内線 3211 診療科長:田中文啓 副診療科長:黒田耕志 外来医長:篠原伸二 病棟医長:篠原伸二 医局長:黒田耕志
	午前	午後	午前	
	紹介 初診 再診	再診 (予約)	紹介 初診 再診	
気管 肺 縦隔 内視鏡外科 (胸腔鏡・ ロボット手術)	田中文啓 黒田耕志 竹中 賢 篠原伸二 平良彰浩	松宮弘喜 吉松克真 苗代絢子	田中文啓 黒田耕志 竹中 賢 篠原伸二 平良彰浩 松宮弘喜 吉松克真	
乳腺	田嶋裕子 高すみれ	田嶋裕子 高すみれ	田嶋裕子 高すみれ 福留唯里加	

産業医科大学若松病院

専門分野	火曜日	直通 093-761-0090 内線 6050 外来医長:吉松克真
	午前	
	紹介、初診 再診	
気管 肺 縦隔 内視鏡手術 乳腺	吉松克真	

【紹介の流れ】

通常紹介

当院医療連携室を通じて外来予約を取って下さい。

TEL: 093-691-7666

緊急を要する場合

時間内外を問わず当院代表に電話をしていただき、
当科当番医・当直医につなぐようにお伝えください。

TEL: 093-603-1611

【当科医局員外来派遣病院】

※呼吸器・胸部疾患において、下記病院外来でも当科医局員が外来紹介患者対応をさせていただきます。

産業医科大学若松病院、済生会八幡総合病院、正和中央病院、新中間病院、戸畑総合病院
大平メディカルケア病院、西尾病院、浜崎病院、八幡慈恵病院、上曽根病院、芦屋中央病院
健愛記念病院、おかがき病院、小倉南メディカルケア病院

産業医科大学第2外科学 〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1
TEL (093) 603-1611 / FAX (093) 692-4004 E-mail : j-2geka@mbox.med.uoeh-u.ac.jp
HP : <http://www.kitakyusyu-gan.jp/>